

WAKABAYASHI
MINERAL
COLLECTION
AT

THE UNIVERSITY OF TOKYO: MINES

PROJECTION
OF GOLDEN AGES
OF
JAPANESE

東京大学総合研究博物館

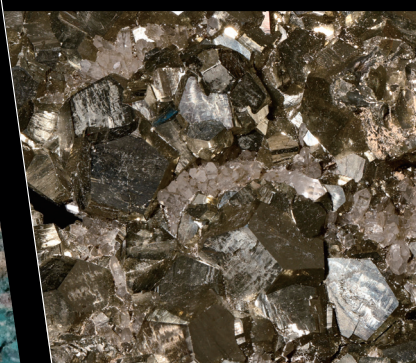
東京都文京区本郷7-3-1

開館時間、休館日はホームページをご覧ください

主催：東京大学総合研究博物館

協賛：AGC株式会社

企画：東京大学総合研究博物館



日本の鉱山黄金時代の投影

2023 | 3 | 23 [木] — 9 | 1 [金]

特別展示
東京大学
若林鉱物標本



AGC
Your Dreams, Our Challenge





WAKABAYASHI
MINERAL
COLLECTION
AT
THE UNIVERSITY OF TOKYO: MINES

PROJECTION
OF GOLDEN AGES
OF
JAPANESE
MINES

特別展示
若林鉱物標本
東京大学

黄銅鉱(三角式)

日本の鉱山黄金時代の投影

明治時代初期から蓄積されてきた数万点に及ぶ当館の鉱物標本の中には、約2,000点の「若林標本」と呼ばれる標本群がある。三菱合資会社の鉱山技師であった若林彌一郎(わかばやし やいちろう)の名前を冠した鉱物コレクションで、明治末～昭和初期に会社が所有していた金属鉱山の鉱石鉱物標本を中心として収集した標本群である。和田標本(三菱マテリアル)、高標本(九州大学)と並ぶ、日本の三大鉱物標本の一つに数えられている。若林標本の価値ある点は、国内の金属鉱山の鉱物標本が中心であるために、ほぼすべての鉱山が閉山となった現代の日本では、もはや採集することが全く不可能となっていることである。今回の特別展では、若林標本と当館がその他に収蔵する標本の一部も合わせて展示して、優れた鉱物結晶標本を通して日本の鉱山黄金時代を回顧する展示としている。まず、昭和初期の標本展示室の雰囲気再現した若林標本の展示コーナーで、床下も含めた圧倒的な数の標本群をご覧になっていただきたい。これまでは全貌が未公開であった若林標本であるが、今回の展示ではなるべく多くの標本を公開することを試みた。また、続くコーナーでは、その後も脈々と受け継がれてきた本学での鉱物研究の証として、東京大学の研究者らによって国内各地から収集された若林標本以外の主要鉱物標本の展示も行っている。いずれの標本にも言えることは、採集元の鉱山はすべて閉山して久しいことである。つまり、これらの標本は、日本各地で輝いていた鉱山黄金時代の投影なのである。鉱物研究には、古き良き時代だった往時に想いを馳せて、これらの美しい鉱物結晶をご覧になっていただきたい。

東京大学総合研究博物館・教授 三河内 岳



ベゼリ石(荒川石) | 閃亜鉛鉱 | 螢石



水晶(日本式双晶)
| 緑柱石 | 黄鉄鉱



霰石 | 輝安鉱 | 方鉛鉱

東京都文京区本郷7-3-1 | 開館時間、休館日はホームページをご覧ください
主催: 東京大学総合研究博物館 | 協賛: A G C 株式会社 | 企画: 東京大学総合研究博物館



東京大学総合研究博物館
The University Museum, The University of Tokyo